

# チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

## 提案！「チャレンジブック」の作成

特別な支援を要する子どもに関わる支援者に知ってほしい情報をまとめた「サポートブック」や就労にあたって職場の人をお願いしたいことをまとめた「ナビゲーションブック」が作成されている。本校中学部では、本人が在学中に活用できる「チャレンジブック」の作成を目指している。

コミュニケーションの取り方  
(該当する□にレ点を記入)

実物を見るとわかる  
 絵を見るとわかる  
 文字で書くとわかる  
 簡単な言葉は理解する  
 前もって手順が示されると理解しやすい  
 「はい」「いいえ」は表現できる  
(その他)

興味のあること、好きなこと

### 1 サポートブック

- ・幼稚園や保育所（園）学校、利用している施設、講演会での託児など、子どもを預ける時、支援者にサポートする際の配慮点を伝えることができる。障害のある人がいつでも誰からでも同じ支援を受けられるためのツールである。サポートブックは、各市町村や支援団体等が誰でも使用できるひな形を提供している。
- ・秋田県では、保護者が記入できる「かがやき手帳」を発行している。

### 2 ナビゲーションブック（支援を受ける人の取り扱い説明書）

- ・支援を必要とする人と周囲の人が安心して働くためのツールである。本人が作成することで、自己理解を促進できる。本人が作成困難な場合は、在学中に関わった支援者が作成して就労先に引き継ぐ。個別の支援計画・指導計画と一緒に綴じることで、生涯を通して一貫した支援を受けるための本人・保護者・支援者をつなぐツールとなる。

#### 「〇〇さんのナビゲーションブック」

自分の特徴	自分の対処法	周囲にお願いしたいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけの指示は分からない</li> <li>・抽象的な表現が分からない</li> <li>・優先順位を付けるのが苦手</li> <li>・困り感を伝えるのが苦手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけメモをとる</li> <li>・分からない時は質問する</li> <li>・チェックリストを作る</li> <li>・質問する努力をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援も活用してほしい</li> <li>・具体的に話してほしい</li> <li>・優先順位を付けてほしい</li> <li>・困っているときは声をかけてほしい</li> </ul>

### 3 チャレンジブック

- ・実際にトラブルを起こした場面や、もしもこんな場合にどうする？というケースを集め、その原因や対応方法をまとめる。日常生活で同じような場面に遭遇した時、いつでも活用できるようにする。子どもの課題をチャンスと捉え、具体的に行動することをチャレンジと考える。支援者ではなく、子ども本人のための支援ツールである。

